２０１９年１２月２０日発行

Keio University

東村山三田会 Vol. 11

発行人：紿田俊哉　編集人：東村山三田会会報編集委員会

今年もいろいろな催しがありました

会長　紿田　俊哉

令和元年、早いものでもう年末が近づいてまいりました。東村山三田会の会員・ご家族の皆様におかれましては、お元気に明るく日々を過ごしておられることと祈念致します。

今年は予想だにしないひどい自然災害に日本の各地が見舞われる事態が起きました。未だに復旧途上にある被災者の方々には心から同情するとともに一日も早い復旧に向けての国・地方を含めたしっかりした公的サポートを引き続き続けてほしいと強く思います。

さて、本年４月開催の第５回定期総会で、2019 年度の活動計画についてご承認を頂きそれを楽しく実行できるよう役員一同取組んでまいりました。詳細につきましては当会のホームページに写真を含めて掲載いたしておりますので是非ご覧いただければ幸甚です。

以下概要をご報告致します。

７月 20 日：第 12 回誕生会を４月～7 月生まれの会員と、当会役員の 15 名参加で東村山駅近くの「義（よし）」にて開催し交流を深めました。

７月 27 日：初の試みとして、「クラブツーリズム」主催のバスツアーを企画。会員８名奥様１名の参加を得て豊洲市場見学、日の出桟橋から浅草までの東京湾クルーズ、ホテルでの昼食、迎賓館赤坂離宮見学、都庁展望台見学、東京ミッドタウン散策を楽しみました。

８月３日：フレンチ・ディナーを楽しみ、西武園の花火も鑑賞するという企画で「食べ歩くかい？」の第 11 回目の食事会を開催。12 名の会員・ご家族の参加を得て西武園そばにある民家「森の家」で美味しいフレンチと夜空に輝く美し花火を堪能しました。

10 月 27 日：第８回デュオの会主催のコンサート、「ハロウィンコンサート」が開催され、例年と同様、当会も地域社会への貢献の一環として協賛しました。満場のお客様を前に、ソプラノ、ピアノ演奏に加え、私自身もヴァイオリン演奏で賛助出演をさせて頂き、お陰様で無事終えることができました。皆様にお楽しみ頂けましたら光栄です。

11 月 16 日：第 13 回誕生会を８月～11 月生まれの会員と、当会役員の 10 名参加で東村山駅近くの「義（よし）」にて開催し交流を深めました。

11 月 24 日：こちらも初の試みとして、サントリービール工場見学を実施しました。会員８名の参加で、工場見学、見学後のビール試飲、その後の懇親会を楽しみました。

なお、年内の今後の行事予定は、毎月開催の各同好会活動が計画されています。

12 月 22 日には昨年大好評であったクリスマスパーティを今回も又沢山のプレゼントを用意して開催致します。お孫さん達もご一緒にご家族ふるってご参加頂きますようご案内いたします。

機会のあるたびにお伝えしておりますが、当会の目指すものは二つあります。それは、「ご家族を含めて会員相互が当会の各種企画の楽しさを十分共有できる事」及び、「地域への貢献ができる事」にあります。役員一同、引き続きその実現に向かって努力を重ねてまいります。

会員の皆様におかれましても、ご家族を含め、どうぞ当会との強い絆造りと当会の各種行事へのご参加、ならびに当会の健全な維持・発展へのご協力をこれまで以上によろしくお願いする次第です。

最後になりますが、東京オリンピックも開催される期待多き 2020 年が目の前！ご家族そろってどうぞお元気に新たな年をお迎え下さいます様祈念致します。

バスツアーを開催しました

7 月 27 日、初めての試みとして、「クラブツーリズム」主催のバスツアーに参加しました。

当三田会からの参加者は 9 名です。（三田会会員 8 名、会員の奥様 1 名）

東村山駅を 7：50 に出発し、東大和駅、立川駅に寄り、全部で 37 名参加でツアーが実施されました。

豊洲市場見学、日の出桟橋から浅草までの東京湾クルーズ、ホテルでの昼食、迎賓館赤坂離宮見学、都庁展望台見学、東京ミッドタウン散策、立川駅戻りという行程です。

豊洲市場では、早朝に競りは終了しており市場としての活気は見られませんでしたが、新しい市場の施設や雰囲気など、一度は見ておくものだと思いました。

また、豊洲市場から日の出桟橋に向かう途中で、取り壊している築地市場を見ることもできました。

東京湾クルーズは、当初は午後実施の予定でしたが、この日は隅田川花火大会当日で船舶の航行が午後は制限されるとのことで、午前中に行われました。おかげで、第二打上げ会場になる場所で台船が設置され、花火打ち上げの準備をしている状況を見ることができました。

赤坂迎賓館は、建物外部、内部、庭園など、すべてが荘厳さの中で存在していると感じられる施設です。建物内部の随所にいる係員の方の説明を聞きながら回ると興味深い見方ができます。

ただ、建物、正門、噴水など国宝だらけで、物々しい警備と係員の多さには驚きました。

この後の都庁展望台見学は、夏休みに入った後の土曜日で、エレベーターの待ち時間 30 分以上というかなりの混雑でした。

私を含めた 6 名の参加者は、都庁展望台見学を止め、ここでツアーから離脱することとしました。

暑い中を動き回り、少しでも早くおいしいビールが飲みたいという誘いに逆らえず、新宿西口で一杯飲んで帰宅しました。

そのままツアーを継続した会員は、展望台見学、東京ミッドタウン散策後、ほぼ予定通り 20：30 に立川

駅に戻り解散となりました。

台風6号の影響で風雨が心配されましたが、なんとか雨には降られずにツアーを終えることができました。ツアー特有の盛りだくさんの内容でお疲れ様でしたが、参加者には満足いただけたのではないかと思います。

次年度も計画したいと思っていますので、より多くの会員の方のご参加をお待ちしております。

＜田中　康之　記＞

サントリー武蔵ブルワリーの見学

11 月 24 日、サントリー武蔵野ブルアリー工場見学に参加しました。

当日、13：50 に、分倍河原駅に会員 8 名が集合し、サントリーのシャトルバスに乗って、サントリー武蔵野ブルアリーに出発です。今回の工場見学は、「ザ・プレミアム・モルツ講座」を申し込んでいます。

このコースは、金・土・日・祝日に、2 回ずつ開催されており、約 40 名が参加していました。

「ザ・プレミアム・モルツ講座」は、最初の 30 分でザ・プレミアム・モルツのブランド作りのこだわりの説明を受け、次の 30 分で工場見学、最後の 30 分でプレミアムモルツをおつまみ付きで試飲する 90 分のコースです。

最初の説明では麦芽、ホップ、天然水、「神泡」の説明と泡だけの試飲がありました。

工場見学は、見学コースに従い、原材料投入から発酵、濾過、缶詰め、梱包までの行程を駆け足で見学してきました。

メインは、やはり最後の試飲です。 プレミアムモルツが 1 杯、香るエールが 1 杯、最後にどちらかを 1 杯、と合計 3 杯も試飲することができ、皆さん大満足の工場見学です。

このコースの他に、毎日 8 回行われている 70 分コースの「ガイドツアー」もあり、いずれも無料です。

これだけ飲ませていただき、サントリーの広報・宣伝・地域貢献への取り組みに感心しました。

工場見学の後は、国分寺まで戻り、懇親会を開きました。さすがに「とりあえず乾杯」のビールは無しで、お酒、料理を楽しみ、和やかに懇談し解散しました。

三田会としては初めての企画で、参加者が 8 名と少なかったように思います。

今後も、多くの会員、ご家族の方が楽しめる企画を計画していきますので、多くの方の参加をお待ちしております。

＜田中　康之　記＞

第 12・13 回誕生会

年 3 回開催し、恒例になりました第 12 回誕生会が、7 月 20 日（土）17 時から開催されました。

4～7 月生まれの方 9 名に参加いただき、紿田会長を始め役員 6 名も出席し、合わせて 15 名での誕生会で、開催場所は、東村山駅近くの「義（よし）」です。

今までお願いしていた和食「ひら川」が 2 年続いたので、違うお店でということで場所を変えました。

乾杯、懇談の後、誕生会対象の方から近況報告としてお話しを頂きました。

久しぶりに三田会の行事に参加いただいた方もいらして、興味深い近況を伺うことができました。

松江さんは着物でお出でになり注目を集めていました。実際はかなり暑いと仰っていましたが、やはり和服の夏の装いはとても涼やかな印象ですね。

17 時に開始して 20 時まで、料理とお酒を楽しみ、和やかかつ少し騒がしく懇談が続きました。

最後は花束贈呈と写真撮影を行って、お開きとなりました。

飲み足りず２次会へ出かけた飲み組もいらっしゃいましたが、皆さん楽しんでいただけたでしょうか。

花束は無事ご自宅に持ち帰って頂けましたでしょうか。

誕生会は、総会や年末の Xmas パーティーなどよりも参加人数の少ない集まりで、色々なお話をして、聞いて、交流が図れる場になっています。

とても楽しい会員同士の懇親の場になっていますので、ぜひ、多くの会員の方にご参加頂ければと思っています。

＜田中　康之　記＞

11 月 16 日（土）17 時 15 分に第 13 回誕生会が「義」で催された。出席者は 10 名。うち幹事が 5 名。大変ですねといったところ、飲むのが好きだから良いんだとのお返事で成程と感心した。

畳の上でテーブルに椅子で、8 時すぎまでゆっくり楽しませてもらった。女性の出席がなかったので下ネタ話にいきそうになるも、さすが三田会、早慶戦、麻雀、料理の話に展開して、はじめは何からこんな話になったんだ？というにぎやかなあっちに行きこっちに行きの楽しい会話に終始した。

その中で男の料理教室を企画してはという話になり、盛り上がったが、何かあったとき、免許を持った人が必要ということで宿題を残すことになった。会長は私のカレーはだれにも負けない、などと料理自慢の方は多数おられるようで、楽しみでもある。

最後は年齢者の集まりでどうしてもそうなるのが、「健康」問題で、皆の関心がそこに行く。皆さん健康で来年も又と、バラの花束を頂戴してお開きとなった。

＜大滝　恒雄　記＞

第 8 回デュオの会

令和元年 10 月 27 日(日)、第 8 回「デュオの会コンサート」が開催されました。

台風 21 号により、千葉、福島方面には大きな被害がありましたが、多摩地区への影響はなく、無事開催の運びとなりました。

昨年は、会場近辺のマンションや住宅にチラシを投函したり、会員、知人に参加のお願いしましたが、今年は、投函やお願いを控えめにしたらどうなるか確かめることにしました。

実は、会場である富士見公民館に置いたチラシを毎週補充する状況が続いたため、在庫がほぼなくなっていたのです。

昨年にも増して受付前からお客様が集まり始めたので、急遽受付を開始しましたが、あっという間に席が埋まりました。

交通の便が悪い場所ですが、所沢・東久留米三田会、東村山稲門会役員の皆様にもご参加いただき、本当に有難うございました。

今年も「ハロウインコンサート　”音楽で世界を巡る”」と題して、数か国の名曲が演奏されましたが、日本からは、ＮＨＫ大河ドラマ「真田丸」のテーマ曲、山口百恵の名曲「秋桜」がヴァイオリン紿田会長、ピアノ伴奏上野さんで演奏され、拍手喝采を浴びました。

最後は、「カントリーロード」の演奏に合わせ、ご来場の皆様と合唱いたしました。　抽選でお子様にハロウインの風船が贈られ、フィナーレとなりました。

来年は 10 月 18 日(日) に開催いたします。

台風が心配ですが、またのお越しをお待ちしております。

＜斉藤　忠義　記＞

第 20 回大好き東村山写真真コンクール　受賞

三田会会員の稲葉光亮さんが、「第 20 回大好き東村山写真コンクール」で、「西武鉄道東村山駅管区長賞」を受賞されました。

【稲葉さんのコメント】

今年で 20 回を数える「大好き東村山写真コンクール」に今般入選し、2019 年 11 月 15 日の表彰式に出てまいりました。

金曜の午後 3 時からという、フルタイム勤務者に配慮のない時刻設定(笑)なので、午後時間休を取って地

元へ戻りました。

9つある賞のうち「西武鉄道東村山駅管区長賞」をいただいた拙作も、実は今年4月の通勤途上で撮ったもので、その分出社を遅らせています。

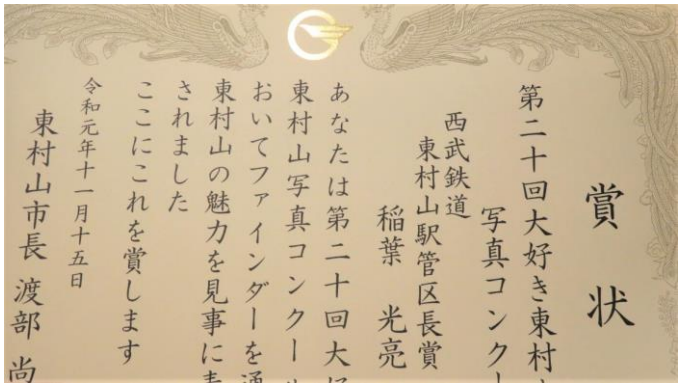
これも働き方何とか？でしょうか。

実は過去3回入選してはいますが、ここ6年間応募するも落選続きで、ちょっと自信喪失系でありました。なので久々の「獲ったどぉ！」と嬉しさも一入でありました。

選者の副管区長さんからは「都市と自然が共存している東村山のイメージ通りの写真。空の青さと山の緑、花の白、そして当社の黄色い電車と素敵なコントラストです。」との高評を頂戴しました。

表彰式で渡辺市長が「間口が広くて敷居の低い、市民に開かれたコンクール」と断言された通り、本当にエントリしやすいコンクールかと思います。

三田会員もどんどん応募して、表彰式を三田会特別会合にしてしまいませんか？(笑)



賞状

第二十回大好き東村山
写真コンクール

西武鉄道
東村山駅管区長賞
稲葉　光亮

あなたは第二十回大好き
東村山写真コンクール
おいてファインダーを通
東村山の魅力を見事に表
されました
ここにこれを賞します

令和元年十一月十五日

東村山市長　渡部　尚

同好会通信♪

☆食べあるくかい？(グルメの会)☆ (20名)

【世話役　櫻井正廣（S46年卒）　連絡先　msgemini30@gmail.com　TEL　090-1767-1617】

8月3日（土）に、フレンチを楽しみ西武園の花火を鑑賞するという企画で「食べ歩くかい？」の第11回目の食事会が参加者12名で開催されました。

場所は西武園そばにある民家「森の家」で、通常営業は予約制のランチのみという形態ですが、西武園花火大会がある夜限定（年に数回）で予約営業されているそうです。

食事はフレンチだけでなく、中華や和食にも対応しているとのことです。「森の家」は一般的にいわれる隠れ家的ではなく、正に「隠れ家」です。知らない人が、家の前に偶然立ち寄ったとしても気づくことはないと思います。そのような外観ですが、内装、調度品、装飾品は素晴らしく一見の価値ありです。トイレがアメリカ式のバスルーム（バスタブ・シャワー・トイレ・化粧台等）になっており、オーナーのご主人に伺ったところ、アメリカに住んだ経験もありませんが、何となくそうなってしまったとのことでした。

メロン・生ハムの前菜から始まりスープ・メイン（肉、魚）・デザートと何れも素晴らしく、おいしくいただきました。乾杯のビールの後は白ワイン・赤ワインと続き、酒は持ち込み可ということで、櫻井さんが準備されたワイン 4 本と〆の酒を楽しみました。

19 時 45 分から始まった花火を、西武園側にある特等席ベランダ（花火鑑賞を遮る障害物ゼロ、花火まで 4～500mぐらいで迫力満点）でチーズ・ドライフルーツをおつまみにワインを 25 分間楽しみました。その後、室内に戻り最後のデザート・飲み物をいただき、終わることなく〆の極上酒（百年の孤独）で〆の〆を満喫しました。

終了間際にオーナー夫人が商学部の先輩であることが解り、違う形で話が盛り上がり所沢三田会には所属されていないことがわかり、当三田会への勧誘でお開きとなりました。その後、タクシーで久米川駅着後、3 人で居酒屋にて二次会となり、別の形で楽しみました。

個人的な感想としては、来年も是非食事と花火を楽しむ会を開いていただけたらと希望します。

＜坂本　正典 記＞

☆慶美会(スケッチ同好会) ☆　（７名）

【世話役　清水英男（S38 年卒）　連絡先　hidshim@jt.ejnet.ne.jp　TEL　090-2655-9231】

相変わらず３ヶ月に一度、年４回、春、秋は野外スケッチ、夏、冬は室内でスケッチ、その後の懇親会は何時も同じお店でというペースを崩さずに活動しています。

たまには少し趣向を変えてとも思いましたが、メンバーの皆様のこのままが良いというご意向に沿って和やかに楽しくやっています。

8 月 31 日は中央公民館で室内スケッチを実施。佐藤大先輩や堀川さんのご主人の堀川勝夫様（三田会会員）が撮られた素晴らしい写真等をモチーフに、油絵の下画デッサン、水彩スケッチ、色鉛筆によるスケッチ等各自其々の作画に励みました。殆ど休憩なし、会話なしで、皆様の熱心さと集中力に敬服しています。

11 月 9 日は東村山「北山公園」で野外スケッチを実施。好天気に恵まれ、青空の下少しずつ色着き始めた木々や、黄金色に染まった菖蒲田や稲束等、絵心を掻き立てる風景を思い思いに描きました。全員が晴れ女、

晴れ男でしょうか、今迄野外スケッチが雨天で中止になったことが一度もありません。

上記両会共に全員参加で、その後懇親会を実施。各自その日の絵や日頃描いているスケッチブックを見せ合い、褒め合い、お陰様で美味しいお酒をちょっぴり楽しみました。

特筆すべきは、メンバーの中で唯一の若手の細川さんです。当会に入会する以前は小学校以来絵を描いたことがないとのことでしたが、すっかり絵に嵌って、忙しい勤務の間、休日は色々な所へスケッチに出掛けて、何時も沢山の絵を披露してくれます。個性的でユニークな作風が素晴らしく皆様感嘆しています。

次回は一応来年２月１日（土）に室内スケッチを予定していますが、中央公民館の予約が３ヶ月前、抽選が２か月前というルールなので場所の確保に苦労します。抽選に外れた場合はキャンセル待ちです。(過去に２回これで何とか確保)

そのために次回の日程を皆様と決めています。

是非一緒に絵を楽しみたいという新メンバーが参加されることを願っております。また、西武線沿線で近くて素敵なスケッチポイントをご存知の方がおられましたら教えて頂ければ嬉しいです。

＜清水　英男　記＞

☆俳句同好会☆ （９名）

【世話役　佐藤嘉江子（S57 年卒）　連絡先 kae_ztjjz@yahoo.co.jp　TEL　090-1734-7582】

俳句の五七五の調べは、古くから日本人の体に染みついたリズムでしょう。標語やキャッチコピーでも多く使われ耳になじんでいます。

俳句は、元々は俳諧の連歌として楽しまれていたものの、冒頭の発句を独立させたもので、正岡子規が命名したようです。

俳句の席を座といい、同好の士が集まり句を詠みあうのが本来の姿で、座ではキャリアも長幼の区別もなく自由に忌憚なく感想を述べあうことができます。芭蕉が「文台去れば反古も同じ」と言っていますが、その場の雰囲気を大事にし気心のあった仲間との交流を第一にしています。

初めは季語に悩ませられますが、なじんでくると、日常の身近な風物に目が留まり、季節感にも敏感になります。旅先の風景が新鮮に見えることもあります。また、沢山の名句の鑑賞の仕方も変わってくるでしょう。知らなかった季語を歳時記に発見する面白さもあります。

当会も月一回の開催が５９回になりました。今ではそれぞれの句風が分かってきて、時には他の人の句風をまねて句を詠むいたずらもあります。

いつでも始められます。興味がある方はぜひ参加してください。お待ちしています。

休講の端正な二字梅雨晴れ間	丸女
春北風花鶏の群れをひと攫ひ	千枝子
片蔭の風と別れて人の波	凡水
窓鳴りて浅き眠りの野分かな	弦六
さりながらこれがあの田か野分後	岳徒
庭の木へ風を携え秋日射	蓑
爽やかに塗香漂ふ修行僧	正典
野分立ち山野清めて神渡る	栗丸
夕立ちの境の部屋にゐるらしき	かえる

＜廣田　眞一　記＞

☆あるいて三田会東村山☆　（15 名）

【世話役　鈴木　実（S49 年卒）　連絡先　minoru_s@1975.jukuin.keio.ac.jp　TEL　090-6539-8336】

２019 年 11 月 11 日（日）、{あるいて三田会「10 時に東伏見駅を出発して石神井公園経由で石神井公園駅まで」} が開催されました。参加者は 6 名で約 2 時間半の行程でした。

句会に参加して一年弱でしたが、あるいて三田会の世話人をされている鈴木さんからのお誘いを受けて今回参加させていただきました。

前夜からの小雨で少し心配していましたが、翌朝はどんよりとした空模様でも雨が降る様な気配はなく、安心して外歩きができるように感じられました。

東伏見駅で待ち合わせて、まず南口から武蔵関公園へ下っていき、傍を流れている石神井川経由で石神井公園を目指しました。前夜からの雨が路面をまだ濡らしていて所々泥濘がありましたが、歩くのに然程のことはありませんでした。

石神井川ではたくさんのカモ（種類不明）がいて、それらが生きていけるだけのきれいな水と豊富なエサがあるのが感じられて、嬉しくなりました。途中、関のボロ市（毎年 12 月上旬開催）で有名な本立寺の前を通りましたが、お参りすることなく何故か素通りしてしまいました。その後、一時間ぐらいで石神井公園辺りに到着した頃には、曇天から晴天へと変わり気温も少し汗ばむような感じでかなり暖かくなりました。6 名の中に誰か「晴れ男か晴れ女」でもいるのかな？とふと思いました。

まず、公園内にある石神井氷川神社にお参りしました。境内では七五三のお祝いをしているご一家がいらして、とても微笑ましく心が安らぎました。

次に、公園の外側を回って三寶寺に向かいました。ここは思いの外大きなお寺で、立派な本堂・大師堂（奥の院）・根本大塔・観音堂等を備えた歴史を感じさせる真言宗の古刹？的なところでした。後で調べたところ、太田道灌によって滅ぼされた石神井城の豊島氏の庇護下にあったものが、その後徳川家康によって安堵され現在に至っているそうです。寺院に興味のある方であれば、近場で行って損のないところだと思いました。

最後に、公園の中心にある三宝字池（三寶寺が名前の由来となっている、武蔵野三大遊水地のひとつ）、三宝字池沼沢植物群落（国の特別天然記念物に指定されている）を見学し、石神井池ではカワウのとても珍しい？光景を目にしました。それは、池にある立杭の上で両方の翼を広げ、まるでどこかの国か軍隊の紋章である「双頭の鷲」然とした趣で止まっていたことです。あれは何をしていたのでしょうか？初めて見たものです。

それから、池でクチボソ釣りをしている人たちや反対側の高級住宅地を見ながら、側道を通って石神井公園駅近くにある「海音」で昼食をとり、その後帰路につきました。久米川駅到着後に小雨模様になり、晴れ男か晴れ女に感謝です。

＜坂本　正典　記＞

☆ボウリング同好会☆（15 名）

【世話役　紿田俊哉（S43 年卒）　連絡先　t.taida-vn@i.softbank.jp　TEL　090-6540-3927】

なんだかんだと都合がつかずに休んでばかりだったボウリングに久しぶりに参加しました。

これまでの修行により、調子の良い時には 150 くらいのスコアもあったと思うのですが、基本的には 100 を目標にしています。

いつもブービーかビリかを争う〇〇さんや△△さんという仲間がいたのですが、この日はあいにくお二人とも欠席。けれど、だいたい誰かしら「調子の悪い人」がいらっしゃるもので、この日も不調の●●さんと熾烈なビリ争いの末、僅差で勝つことができました！

ボウリングは球を転がしてピンに当てるだけの競技ですが、その日によって球が右に曲がったり、左に寄ったり、体調などでクセが出ますし、ちょっとしてメンタルの切り替えで絶好調なスコアも出せる、なんとも奥深い競技です。

私のように運動が苦手な方も、セミプロのような会員からの指導で、素晴らしいスコアを出すことが出来ますので、ぜひ一度トライアル参加してみて下さい。

女性も私を含めて３人おりますので女性の方も是非。

毎月、ボウリングの前には久米川周辺の美味しいお店を探して皆でランチをしていますので、そちらのみの参加でも可です。

＜朝木　直子　記＞

☆麻雀同好会☆　（18 名）

【世話役　田中康之（S52 年卒）　連絡先　vvtanaka@m7.gyao.ne.jp　TEL　080-6528-0202】

東村山三田会麻雀同好会に入会以来長年お世話になっております、Ｓ４３政治卒の熊谷正美です。

第二外国語でフランス語を選択すれば、きっと女子がいるクラスに入れる筈との目論見が麻雀同様外れたばかりでなく、自分の名前から女子と間違えられる羽目になった苦い経歴を持っております。

女子のいないクラスから逃れ、日吉では登校日数と麻雀日数がイコールのような状態がやむなく続き、その割に腕前の上達は見込めず現在に至っております。

同じクラスに１年から塾のエースとなった藤原真君がおり、彼も無類の麻雀好きで試合の前日でも卓を囲むほどでした。後に阪神タイガースで本塁打王になった法大のタブチ君に在学中５本も打たれたのは、相性で片付けられないような気が致します。

入り浸っていた雀荘は日吉で「平和ピンフ」、三田で「一休」と完全に溜り場で、行けばクラスの誰かと授業中でも会えるような状況でした。

当時テレビ番組でも麻雀を放送しており、故大橋巨泉氏が役満をテンパイしていても当たり牌を握った時は勝負でも降りる旨のことに関し、今で言う「炎上」のような状態になったことを覚えております。私は役満テンパイしていなくとも、矢鱈勝負するほどいまだに未熟者ですが……。

役満は殆ど眼にしている私ですが、キャリアの中で今年初めて「天和」を拝見し被害に会いました。

月出（ひたち）さんが親の１局で長考した後、第一声が「上がっております」との事でした。半信半疑で手内を確認しますと見事に完成しており、自分の事のように興奮致しました。

現在は「取切り戦」ですので１局１局へコマないように、ボケ防止になるように、精神的にオチコマないように、石橋を叩いて参加させていただいております。

麻雀のみならず素敵な仲間がこの会にはいらっしゃいますので、入会ウエルカムです。

＜熊谷　正美　記＞

開催月	2019年6月	2019年7月	2019年8月	2019年9月	2019年10月	2019年11月
優勝者	飯塚	斉藤	河崎	生田	熊谷	朝倉

☆ゴルフ同好会☆　（14名）

【世話役　阿蘇秀男(S49年卒)　連絡先　nadeshiko.aso.1710@jcom.home.ne.jp TEL　080-6772-8473】

第９回同好会ゴルフ開催（10月16日　於：清澄ゴルフ倶楽部）

今回も５月に引き続き、清澄ゴルフ倶楽部にて参加者７名で開催。秋冷が爽やかに感じられる好季節、距離のある難コースを堪能しました。

今回は７名の参加のためコンペ形式はとらず、順位だけを競いました。

結果は、２回連続２位となっていました市川さんがグロス７９、ネット７１．８で断トツの１位となりました。７０歳代とは思えない豪快なスイングと緻密なアプローチ、正確なパットで、パーをセーブされていました。

２位には３連続優勝を逃した飯塚さんが安定したスコアで２位に入りました。

３位には第４回コンペ優勝以来、久々に神尾さんが入りました。

プレー後は、軽くお茶をとりながら、しばしプレー談議に花を咲かせ、次回は、高麗川カントリークラブを候補にあげ、来年５月の開催を約して解散しました。

＜阿蘇　秀男　記＞

＜上位３人の成績＞　　(HDCPはダブルペリア方式)

順位	氏　　名	グロス	HDCP	ネット	ニアピン
１位	市 川 栄 二　（Ｓ４５）	79	7.2	71.8	市川栄二（OUT3番） 市川栄二（OUT8番） 廣田　　進（IN13番） 阿蘇秀男（IN17番）
２位	飯 塚 武 彦　（Ｓ４２）	94	19.2	74.8	
３位	神 尾 常 夫　（Ｓ５６）	100	22.8	77.2	

☆カラオケ同好会☆　（20 名）

【世話役　斉藤 忠義（S44 年卒）　連絡先　yasaka_kumegawa@yahoo.co.jp　TEL 090-7005-9959】

最近は、隔月の予定が 3 か月に 1 回とか低調気味になってしまいましたが、世話役の怠慢です。

最近は、5、6 名の常連さんが多くなっています。

休眠同好会にならないよう、来年は、隔月で開催いたしますので、ご協力のほどお願いします。

＜斉藤　忠義　記＞

☆今後の活動の予定☆

2019年12月22日　クリスマスパーティー

2020年03月21日　第14回誕生会

2020年04月18日　第6回定期総会

☆会員の情報☆

会員数　　82 名（12 月 1 日現在）

退会会員　荒井信造

会員通信　原稿募集！！

会員の皆様からの原稿や写真を募集致します。テーマは「塾、東村山」を始め、特に限定は致しません。掲載の可否は役員会で決定致します。誌面の都合上写真の取捨選択を含め若干の手直しをお任せ頂きたいと存じます。文字数は 200～400 程度で「氏名、卒年、学部」を添えて次の応募先に応募してください。

郵　送：〒189-0014　東村山市本町 3-9-10　東村山三田会　会員通信 原稿応募係　廣田眞一

メール： higasimurayama_mitakai@yahoo.co.jp

ホームページ　投稿募集！！

同様に、ホームページ掲載する会員の皆様からの原稿や写真を募集しています。

字数や写真枚数の制限は会報より大きく、かなり自由な表現が可能です。

投稿される方は、ホームページ担当（田中）までご連絡ください。

メール： vvtanaka@m7.gyao.ne.jp

編集委員　廣田眞一・斉藤忠義・田中康之